(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6913991号
(P6913991)
(45)発行日　令和3年8月4日(2021.8.4)　(24)登録日　令和3年7月15日(2021.7.15)

(51)Int.Cl.　　F I
G06Q 10/10 (2012.01)　　G06Q 10/10 344
G06Q 50/12 (2012.01)　　G06Q 50/12
G06Q 10/02 (2012.01)　　G06Q 10/02

請求項の数 10　(全 19 頁)

(21)出願番号　特願2017-67160(P2017-67160)
(22)出願日　平成29年3月30日(2017.3.30)
(65)公開番号　特開2018-169836(P2018-169836A)
(43)公開日　平成30年11月1日(2018.11.1)
審査請求日　令和2年2月27日(2020.2.27)

(73)特許権者　500175565
株式会社ぐるなび
東京都千代田区有楽町一丁目２番２号
(74)代理人　100167302
弁理士　種村　一幸
(72)発明者　菊池　備
東京都千代田区有楽町１－２－２　株式会社ぐるなび内
(72)発明者　中井　健太
東京都千代田区有楽町１－２－２　株式会社ぐるなび内
(72)発明者　落合　淳一
東京都千代田区有楽町１－２－２　株式会社ぐるなび内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】イベント管理装置、イベント管理プログラム、イベント管理方法

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のユーザーから施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付け可能な受付処理部と、
複数の前記ユーザーから受け付けた前記希望条件に合致する施設であって複数の前記ユーザーから受け付けた前記拒絶条件に合致しない施設を検索する検索処理部と、
前記施設の検索結果を提示する提示処理部と、
を備える装置。
【請求項２】
前記検索処理部は、前記受付処理部によって前記希望条件又は前記拒絶条件が受け付けられるごとに前記施設の検索を実行する、
請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記施設が飲食店であり、
前記希望条件及び前記拒絶条件に、料理ジャンル、料理メニュー、エリア、テーマ、及び食材のいずれかに関する条件が含まれる、
請求項１又は２に記載の装置。
【請求項４】
前記検索処理部は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設のみを検索する、

請求項１～３のいずれかに記載の装置。
【請求項５】
前記受付処理部は、複数の参加者が参加するイベントについての参加可否、前記希望条件、前記拒絶条件の入力を、前記イベントについて予め設定される複数の開催候補時期について個別に受け付け可能である、
請求項１～４のいずれかに記載の装置。
【請求項６】
前記検索処理部は、前記開催候補時期ごとに当該開催候補時期に参加可能なユーザーから受け付けた前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて施設を検索する、
請求項５に記載の装置。
【請求項７】
前記受付処理部は、前記開催候補時期のうち参加可能が選択された開催候補時期のみについて、前記希望条件及び前記拒絶条件の入力欄を表示させる、
請求項５又は６に記載の装置。
【請求項８】
前記提示処理部は、提示する前記施設各々について当該施設に合致する前記希望条件を入力したユーザーと当該施設に合致しない前記拒絶条件を入力したユーザーとを識別可能に提示する、
請求項１～７のいずれかに記載の装置。
【請求項９】
複数のユーザーから施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付けることと、
複数の前記ユーザーから受け付けた前記希望条件に合致する施設であって複数の前記ユーザーから受け付けた前記拒絶条件に合致しない施設を検索することと、
前記施設の検索結果を提示することと、
を一又は複数のプロセッサに実行させるためのプログラム。
【請求項１０】
一又は複数のプロセッサにより、
複数のユーザーから施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付けることと、
複数の前記ユーザーから受け付けた前記希望条件に合致する施設であって複数の前記ユーザーから受け付けた前記拒絶条件に合致しない施設を検索することと、
前記施設の検索結果を提示することと、
を含む方法。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、イベントを管理するイベント管理装置、イベント管理プログラム、及びイベント管理方法に関する。
【背景技術】
【０００２】
例えば宴会などのイベントが開催されるにあたっては、参加候補者へのイベントの告知と共に、イベントの開催候補時期各々についての参加候補者の参加可否の確認が行われる。ここで、参加候補者の参加可能日を受け付けることが可能であると共に、参加候補者が希望する料理ジャンル又は食材などの希望条件を受け付けることが可能なシステムが知られている（例えば、特許文献１、２参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００３－３６３３４号公報
【特許文献２】特開２０１０－３３４８４号公報

【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、イベントで使用する施設の選定時には、希望条件とは反対に参加候補者が避けたい料理ジャンル又は食材などの拒絶条件も考慮することが望ましい。
【０００５】
本発明の目的は、イベントの参加候補者の希望条件及び拒絶条件の両方を考慮した施設の情報を提供することが可能なイベント管理装置、イベント管理プログラム、及びイベント管理方法を提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明に係るイベント管理装置は、複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定するイベント設定処理部と、複数のユーザーから前記イベントで使用する施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付け可能な受付処理部と、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索する検索処理部と、前記施設の検索結果を提示する提示処理部とを備える。
【０００７】
本発明に係るイベント管理プログラムは、複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定することと、複数のユーザーから前記イベントで使用する施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付けることと、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索することと、前記施設の検索結果を提示することとを一又は複数のプロセッサに実行させるためのプログラムである。
【０００８】
本発明に係るイベント管理方法は、一又は複数のプロセッサにより、複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定することと、複数のユーザーから前記イベントで使用する施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付けることと、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索することと、前記施設の検索結果を提示することとを実行する方法である。
【発明の効果】
【０００９】
本発明によれば、イベントの参加候補者の希望条件及び拒絶条件の両方を考慮した施設の情報を提供することが可能なイベント管理装置、イベント管理プログラム、及びイベント管理方法が提供される。
【図面の簡単な説明】
【００１０】
【図１】図１は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムの構成を示すブロック図である。
【図２】図２は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムで使用される施設情報の一例を示す図である。
【図３】図３は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムで使用されるメニュー情報の一例を示す図である。
【図４】図４は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムで使用されるイベント情報の一例を示す図である。
【図５】図５は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムで使用されるユーザー情報の一例を示す図である。
【図６】図６は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムのユーザー端末に表示される回答ページの一例を示す図である。
【図７】図７は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムのイベント管理装置において実行されるイベント管理処理の手順の一例を示すフローチャートである。
【図８】図８は、本発明の実施形態に係るイベント管理システムのユーザー端末に表示さ

れる検索結果ページの一例を示す図である。
【発明を実施するための形態】
【００１１】
以下添付図面を参照しながら、本発明の実施形態について説明し、本発明の理解に供する。なお、以下の実施形態は、本発明を具体化した一例であって、本発明の技術的範囲を限定するものではない。また、以下の実施形態で説明する各構成及び各処理機能は必要に応じて取捨選択して任意に組み合わせることが可能である。
【００１２】
［イベント管理システム１］
図１に示すように、本発明の実施形態に係るイベント管理システム１は、イベント管理装置２と、一又は複数のユーザー端末３と、一又は複数の施設端末４とを含む。イベント管理装置２、ユーザー端末３、及び施設端末４は、インターネット、ＬＡＮ、ＷＡＮ、又は公衆電話回線などの通信網Ｎ１を介して通信可能である。
【００１３】
イベント管理装置２は、複数の参加者が参加するイベントを管理するための装置である。前記イベントは、例えば、宴会、旅行、会議、ゴルフなどである。なお、イベント管理装置２が有する機能は複数のコンピュータによって分散して実現されてもよい。
【００１４】
［ユーザー端末３］
ユーザー端末３は、イベントの参加候補者であるユーザーによって操作される情報処理装置である。１台のユーザー端末３が複数のユーザーによって利用されてもよい。図１に示されるように、ユーザー端末３は、制御部３１、記憶部３２、操作表示部３３、及び通信Ｉ／Ｆ３４などを備える。ユーザー端末３は、例えば携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、又はパーソナルコンピュータのような情報処理装置である。
【００１５】
通信Ｉ／Ｆ３４は、ユーザー端末３を有線又は無線で通信網Ｎ１に接続し、通信網Ｎ１を介してイベント管理装置２などの外部機器との間で所定の通信プロトコルに従ったデータ通信を実行するための通信インタフェースである。
【００１６】
操作表示部３３は、各種のウェブページなどの情報を表示する液晶ディスプレイ又は有機ＥＬディスプレイのような表示部と、操作を受け付けるマウス、キーボード、又はタッチパネルなどの操作部とを備えるユーザーインタフェースである。
【００１７】
記憶部３２は、各種の情報を記憶するＨＤＤ（Ｈａｒｄ　Ｄｉｓｋ　Ｄｒｉｖｅ）、ＳＳＤ（Ｓｏｌｉｄ　Ｓｔａｔｅ　Ｄｒｉｖｅ）又はフラッシュメモリーなどの不揮発性の記憶部である。例えば、記憶部３２には、ブラウザプログラム等の制御プログラムが記憶される。具体的に、前記ブラウザプログラムは、ＨＴＴＰ（Ｈｙｐｅｒｔｅｘｔ　Ｔｒａｎｓｆｅｒ　Ｐｒｏｔｏｃｏｌ）等の通信プロトコルに従ってイベント管理装置２等の外部装置との間で通信処理を制御部３１に実行させるための制御プログラムである。
【００１８】
制御部３１は、ＣＰＵ、ＲＯＭ、及びＲＡＭなどの制御機器を有する。前記ＣＰＵは、各種の演算処理を実行するプロセッサである。前記ＲＯＭは、前記ＣＰＵに各種の処理を実行させるためのＢＩＯＳ及びＯＳなどの制御プログラムが予め記憶された不揮発性の記憶部である。前記ＲＡＭは、各種の情報を記憶する揮発性又は不揮発性の記憶部であり、前記ＣＰＵが実行する各種の処理の一時記憶メモリー（作業領域）として使用される。そして、制御部３１は、前記ＲＯＭ又は記憶部３２に予め記憶された各種の制御プログラムを前記ＣＰＵで実行することによりユーザー端末３を制御する。
【００１９】
具体的に、制御部３１は、記憶部３２に記憶されている前記ブラウザプログラムに従って各種の処理を実行することによりブラウザ処理部３１１として機能する。ブラウザ処理

部３１１は、イベント管理装置２から通信網Ｎ１を介して提供されるウェブページを操作表示部３３に表示させ、操作表示部３３に対する操作をイベント管理装置２に入力するブラウザ処理を実行することが可能である。なお、制御部３１に含まれる一部又は全部の処理部は電子回路で構成されていてもよい。

【００２０】

ユーザー端末３は、当該ユーザー端末３に表示される所定のログインページで入力されるユーザーＩＤ及びパスワードに基づいてイベント管理装置２にログインし、イベント作成ページ（不図示）又はユーザー設定ページ（不図示）にアクセスすることが可能である。前記イベント作成ページでは、例えばイベントの「イベント名」及び「開催候補時期」などの情報を入力することが可能であり、入力された情報に基づいて後述のイベント情報Ｄ３（図４参照）が更新される。また、前記ユーザー設定ページでは、イベントの参加候補者であるユーザーの「ユーザー名」、「メールアドレス」、「グループ」などの情報を入力することが可能であり、入力された情報に基づいて後述のユーザー情報Ｄ４（図５参照）が更新される。

【００２１】

［施設端末４］

施設端末４は、イベントで利用される施設の管理者又は従業員によって操作される情報処理装置である。前記施設は、例えば、飲食店、宿泊施設、会議場、ゴルフ場などである。

【００２２】

図１に示されるように、施設端末４は、制御部４１、記憶部４２、操作表示部４３、及び通信Ｉ／Ｆ４４などを備える。施設端末４は、例えば携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、又はパーソナルコンピュータのような情報処理装置である。

【００２３】

通信Ｉ／Ｆ４４は、施設端末４を有線又は無線で通信網Ｎ１に接続し、通信網Ｎ１を介してイベント管理装置２などの外部機器との間で所定の通信プロトコルに従ったデータ通信を実行するための通信インタフェースである。

【００２４】

操作表示部４３は、各種のウェブページなどの情報を表示する液晶ディスプレイ又は有機ＥＬディスプレイのような表示部と、操作を受け付けるマウス、キーボード、又はタッチパネルなどの操作部とを備えるユーザーインタフェースである。

【００２５】

記憶部４２は、各種の情報を記憶するＨＤＤ（Ｈａｒｄ　Ｄｉｓｋ　Ｄｒｉｖｅ）、ＳＳＤ（Ｓｏｌｉｄ　Ｓｔａｔｅ　Ｄｒｉｖｅ）又はフラッシュメモリーなどの不揮発性の記憶部である。例えば、記憶部４２には、ブラウザプログラム等の制御プログラムが記憶される。具体的に、前記ブラウザプログラムは、ＨＴＴＰ（Ｈｙｐｅｒｔｅｘｔ　Ｔｒａｎｓｆｅｒ　Ｐｒｏｔｏｃｏｌ）等の通信プロトコルに従ってイベント管理装置２等の外部装置との間で通信処理を制御部４１に実行させるための制御プログラムである。

【００２６】

制御部４１は、ＣＰＵ、ＲＯＭ、及びＲＡＭなどの制御機器を有する。前記ＣＰＵは、各種の演算処理を実行するプロセッサである。前記ＲＯＭは、前記ＣＰＵに各種の処理を実行させるためのＢＩＯＳ及びＯＳなどの制御プログラムが予め記憶された不揮発性の記憶部である。前記ＲＡＭは、各種の情報を記憶する揮発性又は不揮発性の記憶部であり、前記ＣＰＵが実行する各種の処理の一時記憶メモリー（作業領域）として使用される。そして、制御部４１は、前記ＲＯＭ又は記憶部４２に予め記憶された各種の制御プログラムを前記ＣＰＵで実行することにより施設端末４を制御する。

【００２７】

具体的に、制御部４１は、記憶部４２に記憶されている前記ブラウザプログラムに従って各種の処理を実行することによりブラウザ処理部４１１として機能する。ブラウザ処理部４１１は、イベント管理装置２から通信網Ｎ１を介して提供されるウェブページを操作

表示部４３に表示させ、操作表示部４３に対する操作をイベント管理装置２に入力するブラウザ処理を実行することが可能である。なお、制御部４１に含まれる一部又は全部の処理部は電子回路で構成されていてもよい。

【００２８】

ところで、開催予定のイベントについて、参加候補者の参加可能日を受け付けることが可能であると共に、その参加候補者が希望する料理ジャンル又は食材などの希望条件を受け付けることが可能なシステムが知られている。しかしながら、イベントで使用する施設の選定時には、希望条件とは反対に参加候補者が避けたい料理ジャンル又は食材などの拒絶条件も考慮することが望ましい。これに対し、イベント管理装置２では、イベントの参加候補者の希望条件及び拒絶条件の両方を考慮した施設の情報を提供することが可能である。

【００２９】

［イベント管理装置２］

図１に示されるように、イベント管理装置２は、制御部２１、記憶部２２、操作表示部２３、及び通信Ｉ／Ｆ２４などを備えるサーバである。なお、イベント管理装置２は、１台のコンピュータに限らず、複数台のコンピュータが協働して動作するコンピュータシステムであってもよい。また、イベント管理装置２で実行される各種の処理は、一又は複数のプロセッサによって分散して実行されてもよい。

【００３０】

通信Ｉ／Ｆ２４は、イベント管理装置２を有線又は無線で通信網Ｎ１に接続し、通信網Ｎ１を介してユーザー端末３、施設端末４などの外部機器との間で所定の通信プロトコルに従ったデータ通信を実行するための通信インタフェースである。

【００３１】

操作表示部２３は、各種の情報を表示する液晶ディスプレイ又は有機ＥＬディスプレイのような表示部と、操作を受け付けるマウス、キーボード、又はタッチパネルなどの操作部とを備えるユーザーインタフェースである。

【００３２】

記憶部２２は、各種の情報を記憶するＨＤＤ（Ｈａｒｄ　Ｄｉｓｋ　Ｄｒｉｖｅ）又はＳＳＤ（Ｓｏｌｉｄ　Ｓｔａｔｅ　Ｄｒｉｖｅ）などの不揮発性の記憶部である。具体的に、記憶部２２には、施設情報Ｄ１、メニュー情報Ｄ２、イベント情報Ｄ３、ユーザー情報Ｄ４などのデータが記憶される。また、記憶部２２には、後述の回答ページＰ１（図６参照）などのデータも記憶される。

【００３３】

ここに、図２は施設情報Ｄ１の一例を示す図であり、図３はメニュー情報Ｄ２の一例を示す図であり、図４はイベント情報Ｄ３の一例を示す図であり、図５はユーザー情報Ｄ４の一例を示す図である。なお、メニュー情報Ｄ２は、施設（ここでは、飲食店）ごとに個別に対応付けられて記憶部２２に記憶される。また、他の実施形態として、施設情報Ｄ１、メニュー情報Ｄ２、イベント情報Ｄ３、及びユーザー情報Ｄ４の一部又は全部が、イベント管理装置２から通信網Ｎ１を介してアクセス可能な他のサーバに記憶されていることも考えられる。この場合、イベント管理装置２の制御部２１は、前記他のサーバから前記情報を適宜に取得して、後述のイベント管理処理（図７参照）を実行してもよい。

【００３４】

図２に示されるように、施設情報Ｄ１には、予め登録される施設ごとに対応する施設ＩＤ、パスワード、施設名、エリア、ジャンル、予算、テーマなどの情報が含まれる。施設ＩＤ及びパスワードは、例えば施設端末４を使用するユーザーを特定するために制御部２１によって実行されるログイン処理などに用いられる。施設ＩＤ及び施設名は、施設を識別するための施設識別情報である。エリアは、施設の所在地を示し、ジャンルは、施設で提供されるサービス内容であって、例えば料理ジャンルを示す。予算は、例えば施設の利用について必要な平均的な金額として予め設定された金額である。テーマは、施設の特徴などを示す情報として予め設定された情報であって、例えば「デート」、「女子会」、「

ダイエット」、「ヘルシー」などの各テーマが含まれる。なお、施設情報Ｄ１では、利用目的、許容人数、クーポン使用可否、飲み放題有無、又は食べ放題有無などの他の情報が登録されていてもよい。例えば、制御部２１は、施設端末４のユーザー操作に応じて、施設情報Ｄ１における施設名、エリア、ジャンル、予算、テーマなどの情報を任意に登録可能である。

【００３５】

図３に示されるように、メニュー情報Ｄ２は、施設情報Ｄ１に登録されている施設ごとに対応付けて記憶部２２に記憶されている。メニュー情報Ｄ２には、当該メニュー情報Ｄ２が対応する施設で提供される料理メニューと当該料理メニューで使用される食材とが対応付けて記憶されている。例えば、図４に示す例では、「ほうれん草とさつまいものサラダ」について、「ほうれん草」と「さつまいも」とが食材として使用されていることが示されている。なお、制御部２１は、例えば施設端末４のユーザー操作に応じて、メニュー情報Ｄ２における料理メニュー及び食材などの情報を任意に登録可能である。また、メニュー情報Ｄ２には、料理メニューのメインとなるメイン食材の情報が含まれていることも考えられる。

【００３６】

図４に示されるように、イベント情報Ｄ３には、各種のイベントの情報が登録される。具体的に、イベント情報Ｄ３には、イベントごとに、「イベントＩＤ」、「イベント名」、「開催候補時期」、「希望条件」、「拒絶条件」などのイベントに関する情報が含まれる。「イベントＩＤ」は、制御部２１がイベント各々を識別するための識別情報の一例である。「イベント名」は、イベントの名前である。「開催候補時期」は、イベントを開催する開催日、開催日時、開催期間などの時期に関する条件である。

【００３７】

そして、イベント情報Ｄ３の「希望条件」は、イベントで利用する施設（飲食店）に関して参加候補者であるユーザーが個々に希望する条件である。また、イベント情報Ｄ３の「拒絶条件」は、イベントで利用する施設（飲食店）に関して参加候補者であるユーザーが個々に回避（除外）したいと希望する条件である。具体的に、希望条件及び拒絶条件としては、施設の料理ジャンル、施設で提供される料理メニュー、施設で提供される料理メニューに含まれる食材などの項目が登録される。また、図４に示すイベント情報Ｄ３では、希望条件及び拒絶条件がそれぞれ１つである場合が示されているが、希望条件及び拒絶条件についてそれぞれ複数の条件が設定可能であってもよい。

【００３８】

なお、制御部２１は、例えばユーザー端末３又は施設端末４におけるユーザー操作に応じて、イベント情報Ｄ３の「イベント名」、「開催候補時期」、「希望条件」、「拒絶条件」などのイベントに関する情報を任意に登録可能である。また、制御部２１は、前記ユーザー操作に応じた前記イベント情報Ｄ３の登録時に、イベント毎に個別のイベントＩＤのようなイベント識別情報を発行して管理する。

【００３９】

図５に示されるように、ユーザー情報Ｄ４には、イベントの参加候補者である複数のユーザー（例えば、会社などの組織のメンバ）の各々に関する情報が登録されている。具体的に、ユーザー情報Ｄ４には、前記ユーザーごとに、当該ユーザーに対応する「ユーザー名」、「メールアドレス」、「グループ」などの情報が含まれる。「ユーザー名」は、そのユーザーの名前である。なお、「ユーザー名」の代わりに、ユーザーを識別可能な任意の識別情報を用いてもよい。「メールアドレス」は、そのユーザーが使用している電子メールアドレスである。「グループ」は、複数のユーザーが属するグループを識別するための情報である。

【００４０】

さらに、記憶部２２には、制御部２１に後述のイベント管理処理（図９参照）を実行させるためのイベント管理プログラムなどの制御プログラムが記憶されている。例えば、前記イベント管理プログラムは、ＣＤ又はＤＶＤなどのコンピュータ読取可能な記録媒体に

非一時的に記録されており、イベント管理装置２が備えるＣＤドライブ又はＤＶＤドライブなどの読取装置（不図示）で読み取られて記憶部２２に記憶される。

【００４１】

制御部２１は、ＣＰＵ、ＲＯＭ、及びＲＡＭなどの制御機器を有する。前記ＣＰＵは、各種の演算処理を実行するプロセッサである。前記ＲＯＭは、前記ＣＰＵに各種の演算処理を実行させるためのＢＩＯＳ及びＯＳなどの制御プログラムが予め記憶される不揮発性の記憶部である。前記ＲＡＭは、各種の情報を記憶する揮発性又は不揮発性の記憶部であり、前記ＣＰＵが実行する各種の処理の一時記憶メモリー（作業領域）として使用される。そして、制御部２１は、前記ＲＯＭ又は記憶部２２に予め記憶された各種の制御プログラムを前記ＣＰＵで実行することによりイベント管理装置２を制御する。

【００４２】

具体的に、制御部２１は、図１に示されるように、イベント設定処理部２１１、受付処理部２１２、検索処理部２１３、提示処理部２１４などの各種の処理部を含む。なお、制御部２１は、前記ＣＰＵで前記イベント管理プログラムに従った各種の処理を実行することによって前記処理部として機能する。また、一部又は全部の処理部が電子回路で構成されていてもよい。なお、前記イベント管理プログラムは、複数のプロセッサを各処理部として機能させるためのプログラムであってもよく、例えば複数のプログラムモジュールの集合体であってもよい。

【００４３】

イベント設定処理部２１１は、複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定し、前記記憶部２２に記憶されるイベント情報Ｄ３（図４参照）に登録する。具体的に、イベント設定処理部２１１は、まずユーザー端末３又は施設端末４に対するユーザー操作により入力されるイベントのイベント名称と一又は複数の開催候補時期とをイベント情報Ｄ３に登録する。なお、イベント設定処理部２１１は、各イベントの情報を当該イベントを識別可能な前記イベントＩＤと対応付けて記憶部２２に記憶する。

【００４４】

受付処理部２１２は、イベント設定処理部２１１により設定されるイベント各々について、当該イベントに対応する一又は複数の開催候補時期の参加可否をユーザー端末３のユーザー操作に応じて受け付ける。具体的に、受付処理部２１２は、イベント設定処理部２１１で新規のイベントの情報が前記イベント情報Ｄ３に登録された場合に、当該イベントの情報にアクセスするためのＵＲＬなどのアクセス情報を予め設定される複数の参加候補者にメール又はＳＮＳなどによって通知する。例えば、受付処理部２１２は、イベント設定処理部２１１によってイベントが作成される際に指定されるグループを対象に、当該グループに属するユーザーに通知を行うことが考えられる。また、受付処理部２１２は、イベント設定処理部２１１によってイベントが作成される際に指定される複数の宛先を対象に通知を行うことが考えられる。なお、前記アクセス情報が前記イベントの作成者に送信され、当該作成者から複数の参加候補者に通知されてもよい。そして、受付処理部２１２は、ユーザー端末３各々からの前記アクセス情報に基づくアクセス要求に応じて前記イベントの情報が表示される回答ページＰ１（図６）を当該ユーザー端末３に表示させる。

【００４５】

図６は、ユーザー端末３に表示される回答ページＰ１の一例である。回答ページＰ１には、イベントのイベント名（ここでは、「Ａ飲み会」）が表示される。また、回答ページＰ１には、氏名欄Ｆ０、参加設定欄Ｆ１、及び条件設定欄Ｆ２が設けられている。さらに、回答ページＰ１には、回答ページＰ１の入力内容で回答する旨の操作を受け付ける操作キーＫ１が表示されている。なお、回答ページＰ１による回答内容の入力手法などは単なる一例に過ぎず、受付処理部２１２が同様の情報を受付可能な態様であればよい。

【００４６】

氏名欄Ｆ０は、参加候補者であるユーザーの氏名の入力を受け付けるための入力欄である。氏名欄Ｆ０では、例えばユーザー操作に応じたテキスト入力を受け付けることが可能である。また、ユーザー端末３の操作者であるユーザーがイベント管理装置２にログイン

中である場合には、制御部２１によって当該ユーザーの氏名が氏名欄Ｆ０に自動的に入力されてもよい。さらに、氏名欄Ｆ０では、プルダウンメニュー又はポップアップ選択画面などによって予め設定された複数の参加候補者が表示可能であり、前記参加候補者の選択操作を受け付けることが可能であってもよい。

【００４７】

参加設定欄Ｆ１は、イベントへの参加可否の入力を受け付けるための入力欄である。参加設定欄Ｆ１には、イベント設定処理部２１１により当該イベントについて設定された一又は複数の開催候補時期が表示される。また、参加設定欄Ｆ１には、開催候補時期ごとに、参加可能（出席）に対応する選択領域Ｒ１１と、参加不可（不参加）に対応する選択領域Ｒ１２とが表示される。ユーザーは、開催候補時期ごとに、選択領域Ｒ１１又は選択領域Ｒ１２を操作（例えば、クリック、タッチなど）することによって、いずれか一方を択一的に選択状態にすることができる。なお、参加設定欄Ｆ１では、出欠未定が選択可能であってもよい。

【００４８】

条件設定欄Ｆ２は、イベントについての希望条件及び拒絶条件の入力を受け付けるための入力欄である。条件設定欄Ｆ２には、イベントの希望条件及び拒絶条件が入力可能な入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２が開催候補時期ごとに個別に表示される。具体的に、前記希望条件は、参加候補者が希望する料理ジャンル、料理メニュー、食材などに関する条件であり、前記希望条件は、参加候補者が避けたい料理ジャンル、料理メニュー、食材などに関する条件である。なお、前記希望条件及び前記拒絶条件はここで例示するものに限らない。

【００４９】

具体的に、入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２では、例えばユーザー操作に応じたテキスト入力を受け付けることが可能である。また、入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２では、プルダウンメニュー又はポップアップ選択画面などによって予め設定された複数の選択項目が表示可能であり、一又は複数の前記選択項目の選択操作を受け付けることが可能であってもよい。ここで、入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２では、入力する情報の項目種別（料理ジャンル、料理メニュー、食材など）が指定可能であってもよい。なお、条件設定欄Ｆ２の入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２の入力は必須ではなく、ユーザーが所望する希望条件及び拒絶条件が無い場合は入力されなくてもよい。

【００５０】

ここで、制御部２１は、回答ページＰ１において、参加設定欄Ｆ１で参加可能が選択された開催候補時期のみについて当該開催候補時期と当該開催候補時期に対応する入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２とを表示させる。即ち、制御部２１は、参加設定欄Ｆ１で参加不可が選択された開催候補時期については当該開催候補時期と当該開催候補時期に対応する入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２とを表示させない。そして、制御部２１は、参加設定欄Ｆ１で選択領域Ｒ１１が選択されるごとに、当該選択領域Ｒ１１に対応する当該開催候補時期と当該開催候補時期に対応する入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２とを条件設定欄Ｆ２に表示させる。なお、他の実施形態として、参加設定欄Ｆ１における選択内容に関係なく全ての前記開催候補時期について入力欄Ｒ２１及び入力欄Ｒ２２が表示されてもよい。また、複数の開催候補時期に共通の希望条件及び拒絶条件が入力可能な構成であってもよい。

【００５１】

そして、回答ページＰ１において各種の情報が入力された後、操作キーＫ１が操作されると、回答ページＰ１の氏名欄Ｆ０、参加設定欄Ｆ１、及び条件設定欄Ｆ２の回答内容がユーザー端末３からイベント管理装置２に送信される。受付処理部２１２は、ユーザー端末３から受信した氏名欄Ｆ０、参加設定欄Ｆ１、条件設定欄Ｆ２の回答内容を参加候補者の回答情報として、イベント情報Ｄ３に登録する。なお、氏名欄Ｆ０に入力される氏名の代わりに、当該氏名に対応するユーザーを識別可能なユーザーＩＤなどの任意の識別情報が記憶されてもよい。

【００５２】

検索処理部２１３は、施設情報Ｄ１、メニュー情報Ｄ２、及びイベント情報Ｄ３に基づいて、条件設定欄Ｆ２の入力欄Ｒ２１で設定された希望条件に合致する施設であって、条件設定欄Ｆ２の入力欄Ｒ２２で設定された拒絶条件に合致しない施設を少なくとも検索する。特に、検索処理部２１３は、前記開催候補時期各々について、当該開催候補時期に参加可能なユーザーから受け付けた前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて前記検索処理を実行する。また、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設のみを検索してもよい。具体的に、検索処理部２１３は、施設情報Ｄ１及びメニュー情報Ｄ２に基づいて、希望条件に含まれる料理ジャンル、料理メニュー、食材の情報が合致する施設を抽出し、その中から、拒絶条件に含まれる料理ジャンル、料理メニュー、食材の情報が合致しない施設を抽出する。なお、希望条件及び拒絶条件における食材については、例えば料理メニューのメイン食材に合致するか否かが判定されることが考えられる。

【００５３】

また、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索すると共に、その検索条件を緩めた条件でも施設を検索することが考えられる。例えば、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索条件として検索した後、その検索結果として予め設定された数の施設が抽出されなかった場合に、前記拒絶条件を考慮せず少なくとも一又は複数の前記希望条件に合致する施設を検索条件として検索することが考えられる。また、同様に、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索条件として検索した後、その検索結果として予め設定された数の施設が抽出されなかった場合に、前記希望条件を考慮せず少なくとも一又は複数の前記拒絶条件に合致しない施設を検索条件として施設を検索することも考えられる。

【００５４】

［イベント管理処理］

以下、図７を参照しつつ、イベント管理装置２の制御部２１によって実行されるイベント管理処理について説明する。

【００５５】

なお、本発明は、当該イベント管理処理に含まれる一又は複数のステップを実行するイベント管理方法の発明として捉えることができ、ここで説明する当該イベント管理処理に含まれる一又は複数のステップが適宜省略されてもよい。なお、前記イベント管理処理における各ステップは同様の作用効果を生じる範囲で実行順序が異なってもよい。さらに、ここでは制御部２１によって当該イベント管理処理における各ステップが実行される場合を例に挙げて説明するが、複数のプロセッサによって当該イベント管理処理における各ステップが分散して実行されるイベント管理方法も他の実施形態として考えられる。

【００５６】

＜ステップＳ１０＞

まず、ステップＳ１０において、制御部２１のイベント設定処理部２１１は、イベントの幹事となるユーザーによるユーザー端末３へのユーザー操作に応じて、複数の参加者が参加するイベントのイベント名及び開催候補時期などを設定してイベントを作成する。ここで作成されたイベントの情報は、制御部２１によって記憶部２２のイベント情報Ｄ３（図４参照）に登録される。

【００５７】

＜ステップＳ１１＞

ステップＳ１１において、制御部２１の受付処理部２１２は、前記ステップＳ１０で設定されたイベント（以下、対象イベントと称する）についてのイベント名及び開催候補時期などを含むイベント通知情報を参加候補者である複数のユーザーに送信する。例えば、制御部２１は、ユーザー情報Ｄ４に登録されている「メールアドレス」に基づいて、図６に示されるような回答ページＰ１にアクセスするためのアクセス情報を電子メールで各ユーザーに通知する。具体的に、制御部２１は、ユーザー情報Ｄ４に基づいて、現在ユーザ

ー端末３にログイン中のユーザーと同一のグループ内の各ユーザーを選択するための操作画面を当該ユーザー端末３に表示させ、その選択操作に応じて前記アクセス情報の宛先を設定する。

【００５８】

＜ステップＳ１２＞

ステップＳ１２において、制御部２１の受付処理部２１２は、各ユーザーのユーザー端末３からの前記アクセス情報に基づく回答ページＰ１へのアクセス要求が行われたか否かを判断する。ここで、回答ページＰ１へのアクセス要求が行われたと判断されると（Ｓ１２：Ｙｅｓ）、処理がステップＳ１３に移行し、回答ページＰ１へのアクセス要求が行われていなければ（Ｓ１２：Ｎｏ）、処理がステップＳ１２で待機する。

【００５９】

＜ステップＳ１３＞

ステップＳ１３において、制御部２１の受付処理部２１２は、前記ステップＳ１１で開催候補時期を提示したユーザーの操作に基づいて回答ページＰ１を表示させ、氏名欄Ｆ０、参加設定欄Ｆ１、条件設定欄Ｆ２に入力された回答情報を取得する。具体的に、受付処理部２１２は、ユーザー端末３のユーザー操作により、回答ページＰ１において氏名欄Ｆ０、参加設定欄Ｆ１、条件設定欄Ｆ２に情報が入力された後、操作キーＫ１が操作された場合に、氏名欄Ｆ０、参加設定欄Ｆ１、条件設定欄Ｆ２に入力された情報をユーザー端末３から受信してイベント情報Ｄ３に登録する。なお、受付処理部２１２は、操作キーＫ１が操作されてユーザー端末３から回答情報が取得されるまでの間は処理をステップＳ１３で待機させる。

【００６０】

＜ステップＳ１４＞

ステップＳ１４において、制御部２１は、前記ステップＳ１３で取得した情報に前記希望条件又は前記拒絶条件の少なくとも一方が含まれているか否かを判断する。そして、前記希望条件又は前記拒絶条件の少なくとも一方の情報が含まれていると判断されると（Ｓ１４：Ｙｅｓ）、処理がステップＳ１５に移行する。一方、前記希望条件又は前記拒絶条件の少なくとも一方の情報が含まれていないと判断されると（Ｓ１４：Ｎｏ）、処理がステップＳ１７に移行する。即ち、検索処理部２１３は、受付処理部２１２によって前記希望条件又は前記拒絶条件が受け付けられるごとに後述のステップＳ１５における施設の検索処理を実行することになる。一方、検索処理部２１３は、受付処理部２１２によって、前記開催候補時期各々の参加可否についての回答を受け付けた場合であっても、前記希望条件又は前記拒絶条件が受け付けられなかった場合にはステップＳ１５～Ｓ１６を実行しないことになる。

【００６１】

＜ステップＳ１５＞

ステップＳ１５において、制御部２１の検索処理部２１３は、前記イベント情報Ｄ３と前記ステップＳ１３で取得した前記希望条件及び前記拒絶条件とに基づいて、対象イベントの開催候補時期各々における施設候補を検索するための検索処理を実行する。即ち、前記施設候補は、前記開催候補時期ごとに対応する前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて個別に検索されることになる。

【００６２】

具体的に、検索処理部２１３は、施設情報Ｄ１、メニュー情報Ｄ２、及びイベント情報Ｄ３に基づいて、条件設定欄Ｆ２の入力欄Ｒ２１で設定された希望条件に合致する施設であって、条件設定欄Ｆ２の入力欄Ｒ２２で設定された拒絶条件に合致しない施設のみを検索する。特に、検索処理部２１３は、前記開催候補時期各々について、当該開催候補時期に参加可能なユーザーから受け付けた前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて前記検索処理を実行する。即ち、前記検索処理による検索結果は、前記開催候補時期によって異なることがある。ここで、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致し前記拒絶条件に合致しない施設であって、前記対象イベントの開催候補時期に予約可能な施設のみを検索して

もよい。また、前述したように、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を優先的に検索しつつ、検索条件を緩めた条件でも施設を検索することが考えられる。

【００６３】

なお、当該ステップＳ１５における検索結果は、検索処理部２１３によって前記対象イベントに対応付けて記憶部２２に記憶される。ここで、検索処理部２１３は、前記対象イベントに対応付けて記憶されている検索結果が存在する場合には、当該検索結果を上書きする。また、検索処理部２１３は、前記ステップＳ１３で取得した前記希望条件又は前記拒絶条件の対象となっている開催候補時期のみについて前記検索処理を実行してもよい。なお、前記検索結果の表示を要求するための操作キーが回答ページＰ１に表示され、当該操作キーの操作に応じて制御部２１がユーザー端末３に前記検索結果を表示させることも考えられる。

【００６４】

＜ステップＳ１６＞

ステップＳ１６において、制御部２１の提示処理部２１４は、予め設定されたユーザーに前記ステップＳ１５における検索が行われた旨、又はその検索結果などを通知する通知処理を実行する。例えば、提示処理部２１４は、前記対象イベントを作成したユーザーのメールアドレス等を宛先として通知処理を実行する。具体的に、提示処理部２１４は、前記ステップＳ１５による検索結果を表示させるための検索結果アクセス情報をユーザー端末３に通知し、当該検索結果アクセス情報に基づくアクセス要求に応じて前記検索結果をユーザー端末３に表示させる。この場合、提示処理部２１４は、前記アクセス要求に応じて後述のステップＳ１９以降の処理を実行する。これにより、例えば幹事であるユーザーは、前記希望条件又は前記拒絶条件などが設定される度にその旨を把握して前記検索結果を参照することが可能となる。なお、制御部２１は、前記ステップＳ１５において、前記ステップＳ１４で前記希望条件又は前記拒絶条件が受け付けられたと判断された開催候補時期のみについて施設を検索し、その検索結果のみを当該ステップＳ１６で通知することも他の実施形態として考えられる。また、前記ステップＳ１４～Ｓ１６が省略されること、又は、当該ステップＳ１６が省略されることも他の実施形態として考えられる。

【００６５】

＜ステップＳ１７＞

ステップＳ１７において、制御部２１の検索処理部２１３は、予め設定された幹事などのユーザーにより、当該対象イベントについて施設を検索するための検索開始操作が行われたか否かを判断する。例えば、検索処理部２１３は、イベントを作成した幹事などのユーザーによるユーザー端末３の操作に応じて、前記対象イベントのイベント名又は開催候補時期などが編集可能であって、前記検索開始操作を受け付けるための検索開始キーが表示されるイベント管理ページ（不図示）を当該ユーザー端末３に表示させる。そして、検索処理部２１３は、前記検索開始キーが操作された場合に前記検索開始操作が行われたと判断する。より具体的に、前記イベント管理ページでは、前記検索開始キーが前記開催候補時期ごとに対応して表示されており、当該開催候補時期のいずれかに対応する前記検索開始キーが選択可能である。ここで、前記検索開始操作が行われたと判断されると（Ｓ１７：Ｙｅｓ）、処理がステップＳ１８に移行し、前記検索開始操作が行われていないと判断されると（Ｓ１７：Ｎｏ）、処理が前記ステップＳ１２に戻る。

【００６６】

＜ステップＳ１８＞

ステップＳ１８において、制御部２１の検索処理部２１３は、前記ステップＳ１５と同様に前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて、前記イベント管理ページで選択された前記開催候補時期について選択候補となる施設を検索する検索処理を実行する。具体的に、検索処理部２１３は、前記希望条件に合致し前記拒絶条件に合致しない施設であって、前記対象イベントの開催候補時期に予約可能な施設を検索する。

【００６７】

なお、検索対象の開催候補時期が選択されていない場合、当該ステップＳ１８では、全ての前記開催候補時期について前記検索処理が実行される。ところで、予め設定された期間内に前記ステップＳ１５で既に検索処理が実行されている前記開催候補時期については前記ステップＳ１８における検索処理が省略されてもよい。また、検索処理部２１３が、前記ステップＳ１４を省略して前記希望条件又は前記拒絶条件の有無に関係なく前記ステップＳ１５を実行する場合には、前記イベント情報Ｄ３が更新されるごとに前記ステップＳ１５で検索処理が実行されるため、当該ステップＳ１８は省略可能である。

【００６８】

＜ステップＳ１９＞

ステップＳ１９において、制御部２１の提示処理部２１４は、前記ステップＳ１５又は前記ステップＳ１８で実行された前記検索処理の検索結果を提示する提示処理を実行する。具体的に、提示処理部２１４は、前記イベント管理ページで選択された前記開催候補時期についての前記検索処理の検索結果を前記検索開始操作が行われたユーザー端末３に送信し、当該ユーザー端末３に前記検索結果を表示させる。これにより、イベントの参加候補者の希望条件及び拒絶条件の両方を考慮した施設の情報がユーザーに提供されることになる。

【００６９】

ここに、図８は、前記ステップＳ１９で検索結果として提示される検索結果ページＰ２の一例を示す図である。図８に示されるように、検索結果ページＰ２では、前記検索結果として抽出された施設各々の情報が表示される一又は複数の施設表示部Ｆ３が表示される。施設表示部Ｆ３各々には、施設名などの施設の識別情報、施設で提供される代表的な料理メニューの画像、施設の外観画像、施設へのアクセス情報、施設の概要を説明するための説明文などの各種の情報が表示される。

【００７０】

特に、提示処理部２１４は、施設表示部Ｆ３において、提示する前記施設各々について当該施設に合致する前記希望条件を入力したユーザーと当該施設に合致する前記拒絶条件を入力したユーザーとを識別可能に提示することが考えられる。具体的に、提示処理部２１４は、図８に示されるように、当該施設表示部Ｆ３に情報が表示されている施設に合致する希望条件を入力した参加候補者の氏名などの識別情報と、当該施設表示部Ｆ３に情報が表示されている施設に合致しない拒絶条件を入力した参加候補者の氏名などの識別情報とが表示される表示欄Ｆ３１を表示させる。これにより、幹事などのユーザーが施設を選択する際に当該施設に合致する希望条件を入力した参加候補者と当該施設に合致しない拒絶条件を入力した参加候補者とを容易に把握しながら予約する施設を選定することが可能となる。

【００７１】

なお、制御部２１は、検索結果ページＰ２に、参加候補者各々によって入力された希望条件及び拒絶条件各々の有効及び無効を任意に切り替えるための操作キーを表示させることが考えられる。そして、制御部２１は、当該操作キーの操作により有効が選択された一又は複数の希望条件及び拒絶条件に基づいて検索処理を実行して当該検索結果ページＰ２の表示を更新することが考えられる。また、制御部２１が、希望条件及び拒絶条件各々の有効及び無効を任意に切り替えるための操作キーに代えて、希望条件又は拒絶条件を入力した参加候補者を選択するための操作キーを表示させることも考えられる。この場合、制御部２１は、当該操作キーの操作により選択された一又は複数の参加候補者の希望条件及び拒絶条件に基づいて検索処理を実行して当該検索結果ページＰ２の表示を更新することが考えられる。

【００７２】

＜ステップＳ２０＞

ステップＳ２０において、制御部２１は、前記ステップＳ１９で検索結果として表示される施設のうちユーザー操作で選択される施設を対象イベントで利用すべき施設として予約するための予約処理を実行する。例えば、制御部２１は、イベントの作成者であるユー

ザーの氏名を予約者名とし、前記ステップＳ１７で選択された開催候補時期を予約時期として、他の参加人数、希望条件、又は拒絶条件などを含む予約情報をイベント管理装置２又は店舗端末４に送信する。なお、前記予約情報には、例えばユーザー端末３のユーザー操作によって入力される予算又はコース料理などが含まれていてもよい。また、制御部２１は、対象イベントに参加する複数のユーザーに複数の前記施設候補を提示して、前記ユーザー各々から所望の施設候補を取得して、予約すべき施設を多数決によって決定してもよい。

【００７３】

＜ステップＳ２１＞

ステップＳ２１において、制御部２１は、前記ステップＳ２０で予約された施設の情報及び対象イベントに関する情報（イベント名、予約者名、予約時期、施設名、参加人数など）を、対象イベントに参加するユーザーに電子メールなどで通知する。なお、制御部２１は、当該ステップＳ２１において、対象イベントの予約時期に参加可能なユーザーのみに対して通知してもよく、予約時期に参加できないユーザーを含む全ユーザーに対して通知してもよい。

【００７４】

以上説明したように、本実施形態に係るイベント管理装置２では、前記希望条件及び前記拒絶条件が参加候補者であるユーザー各々から受け付けられ、前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて検索された施設が提示される。即ち、イベントの参加候補者の希望条件及び拒絶条件の両方を考慮した施設の情報が提供される。従って、幹事などのユーザーは、参加候補者であるユーザー各々の希望条件だけでなく拒絶条件も考慮して施設を容易に選定することが可能となる。

【００７５】

なお、例えば希望条件だけに基づいて施設が検索される場合には、施設を選定する幹事などのユーザーが、希望条件に基づいて検索される施設各々の情報を順次参照し、参加候補者から聞いた拒絶条件に合致しない施設を除外しながら繰り返し施設を探すことになる。これに対し、イベント管理装置２では、参加候補者各々の希望条件に合致すると共に参加候補者各々の拒絶条件に合致しない施設が検索されるため、ユーザー端末３に対する操作、ユーザー端末３とイベント管理装置２との間の通信などが抑制される。従って、イベント管理装置２によれば、コンピュータリソースの有効利用、及び通信トラフィックの低減が可能となる。

【００７６】

また、本実施形態では、同一の回答画面Ｐ１に対する入力操作によって、開催候補時期各々の参加可否の情報と希望条件又は拒絶条件とが同じタイミングで行われる。一方、本発明はこれに限定されず、開催候補時期各々の参加可否の情報と希望条件又は拒絶条件とが異なるタイミングで行われることも他の実施形態として考えられる。

【００７７】

なお、本実施形態では、前記希望条件及び前記拒絶条件として入力される条件の項目種別が料理メニュー又は食材である場合について説明した。一方、前記希望条件及び前記拒絶条件として入力される項目種別はこれに限らない。例えば、前記項目種別としては、エリア、施設名、チェーン店名、テーマ、又はアレルギー項目などが考えられる。

【００７８】

また、前記希望条件及び前記拒絶条件として入力可能な項目種別が複数存在する場合には、条件入力時に当該項目種別が選択可能であることが考えられる。具体的には、入力欄Ｒ２１ごとに希望条件の項目種別を選択可能な選択キーが表示され、制御部２１は、入力欄Ｒ２１に対応する前記選択キーで選択された前記項目種別を当該入力欄Ｒ２１に入力された希望条件の項目種別として受け付けることが考えられる。同様に、入力欄Ｒ２２ごとに拒絶条件の項目種別を選択可能な選択キーが表示され、制御部２１は、入力欄Ｒ２２に対応する前記選択キーで選択された前記項目種別を当該入力欄Ｒ２２に入力された拒絶条件の項目種別として受け付けることも考えられる。これにより、制御部２１は、入力欄Ｒ

２１又は入力欄Ｒ２２に入力された条件の項目種別を正確に特定した上で施設を検索することが可能となる。

【００７９】

また、検索処理部２１３が、前記拒絶条件として入力された料理ジャンルに合致しない施設を検索するものであり、提示処理部２１４が、前記拒絶条件として入力された料理メニュー又は食材に合致する施設が予約対象として選択された場合に、前記拒絶条件として入力された料理メニュー又は食材の存在を提示することも考えられる。また、検索処理部２１３が、前記拒絶条件として入力された料理ジャンルに合致しない施設を検索するものであり、提示処理部２１４が、前記拒絶条件として入力された料理メニュー又は食材を含むコース料理が予約対象として選択された場合に、前記拒絶条件として入力された料理メニュー又は食材の存在を提示することも考えられる。これにより、例えば前記拒絶条件に合致する一部の料理メニュー又は食材だけを避ければ使用可能な施設も抽出されることになり、抽出される施設数の無駄な制限が抑制される。

【００８０】

さらに、制御部２１が、イベントに対応する前記イベント管理ページなどにおいて、参加候補者各々の優先度の設定を受付可能であり、検索処理部２１３による検索時に、前記優先度の高い参加候補者の希望条件及び拒絶条件を優先して検索処理を実行することも考えられる。また、提示処理部２１４が、検索結果ページＰ２において、前記優先度の高い参加候補者の希望条件及び拒絶条件に基づいて抽出された施設を優先的に上位に表示させることも考えられる。

【００８１】

［発明の付記］

以下、上述の実施形態から抽出される発明の概要について付記する。なお、以下の付記で説明する各構成及び各処理機能は取捨選択して任意に組み合わせることが可能である。

【００８２】

＜付記１＞

複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定するイベント設定処理部と、

複数のユーザーから前記イベントで使用する施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付け可能な受付処理部と、

前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索する検索処理部と、

前記施設の検索結果を提示する提示処理部と、

を備える情報提供装置。

【００８３】

＜付記２＞

前記施設が飲食店であり、

前記希望条件及び前記拒絶条件に、料理ジャンル、料理メニュー、及び食材のいずれかに関する条件が含まれる、

付記１に記載のイベント管理装置。

【００８４】

＜付記３＞

前記検索処理部は、前記受付処理部によって前記希望条件又は前記拒絶条件が受け付けられるごとに前記施設の検索を実行する、

付記１又は２に記載のイベント管理装置。

【００８５】

＜付記４＞

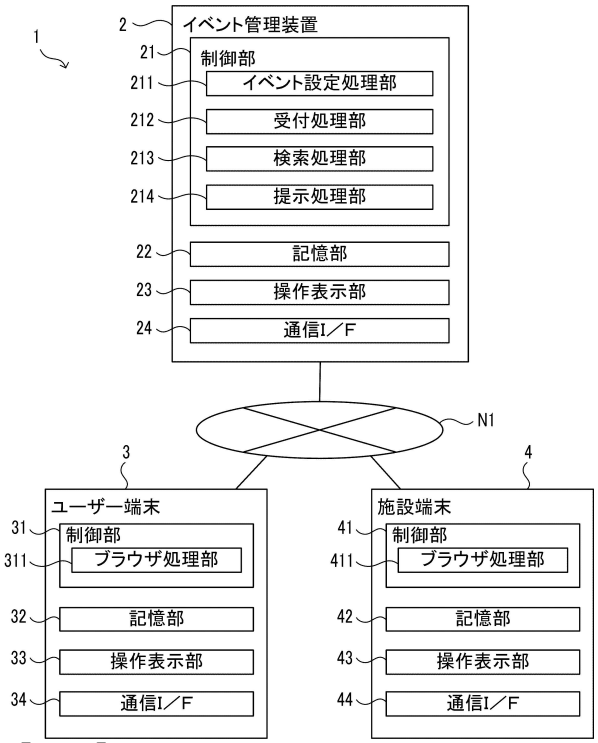
前記検索処理部は、前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設のみを検索する、

付記１～３のいずれかに記載のイベント管理装置。

【００８６】

＜付記５＞
前記受付処理部は、参加可否、前記希望条件、前記拒絶条件の入力を複数の開催候補時期に個別に受け付け可能である、
付記１～４のいずれかに記載のイベント管理装置。
【００８７】
＜付記６＞
前記検索処理部は、前記開催候補時期ごとに当該開催候補時期に参加可能なユーザーから受け付けた前記希望条件及び前記拒絶条件に基づいて施設を検索する、
付記５に記載のイベント管理装置。
【００８８】
＜付記７＞
前記受付処理部は、前記開催候補時期のうち参加可能が選択された開催候補時期のみについて、前記希望条件及び前記拒絶条件の入力欄を表示させる、
付記５又は６に記載のイベント管理装置。
【００８９】
＜付記８＞
前記提示処理部は、提示する前記施設各々について当該施設に合致する前記希望条件を入力したユーザーと当該施設に合致する前記拒絶条件を入力したユーザーとを識別可能に提示する、
付記１～７のいずれかに記載のイベント管理装置。
【００９０】
＜付記９＞
複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定することと、
複数のユーザーから前記イベントで使用する施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付けることと、
前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索することと、
前記施設の検索結果を提示することと、
を一又は複数のプロセッサに実行させるためのイベント管理プログラム。
【００９１】
＜付記１０＞
一又は複数のプロセッサにより、
複数の参加者が参加するイベントに関する情報を設定することと、
複数のユーザーから前記イベントで使用する施設の選定に関する希望条件及び拒絶条件を受け付けることと、
前記希望条件に合致する施設であって前記拒絶条件に合致しない施設を検索することと、
前記施設の検索結果を提示することと、
を実行するイベント管理方法。
【符号の説明】
【００９２】
１　イベント管理システム
２　イベント管理装置
２１　制御部
２１１　イベント設定処理部
２１２　受付処理部
２１３　検索処理部
２１４　提示処理部
３　ユーザー端末
４　施設端末

【図１】



【図２】

D1

施設ID	パスワード	施設名	エリア	料理ジャンル	予算	テーマ
0001	25725761	レストランB1	銀座	イタリアン・フレンチ	8000円	デート
0002	63462825	レストランB2	銀座	すし・魚料理	5000円	女子会
0003	86353768	レストランB3	銀座	イタリアン	3000円	ビアガーデン
…	…	…	…	…	…	…

【図３】

D2

料理メニュー	食材1	食材2	…
ほうれん草とさつまいものサラダ	ほうれん草	さつまいも	…
豆腐サラダ	豆腐	レタス	…
手羽先	鶏手羽先	…	…
女子会コース	ほうれん草	さつまいも	…
…	…	…	…
…	…	…	…
…	…	…	…

【図４】

D3

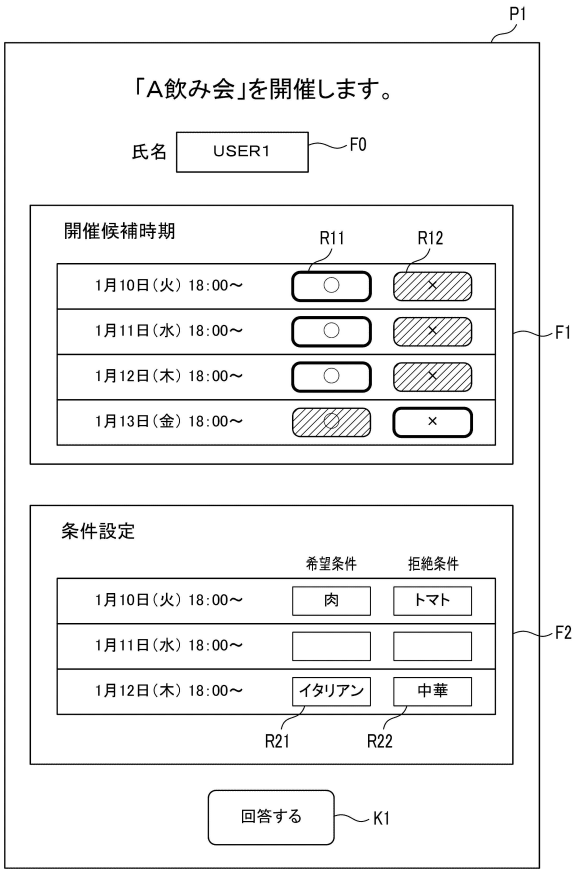
イベントID	イベント名	開催候補時期	希望条件		拒絶条件	
			ユーザー	条件	ユーザー	条件
0001	A飲み会	1月10日:18時	USER1	肉	USER1	トマト
			USER2	お好み焼き	USER2	そば
		1月11日:18時	USER3	和食	USER3	イタリアン
		1月12日:18時	USER1	イタリアン	USER1	中華
			USER2	和食	USER2	辛口
			USER3	―	USER3	―
		1月13日:18時	USER3	寿司	USER3	―
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図５】

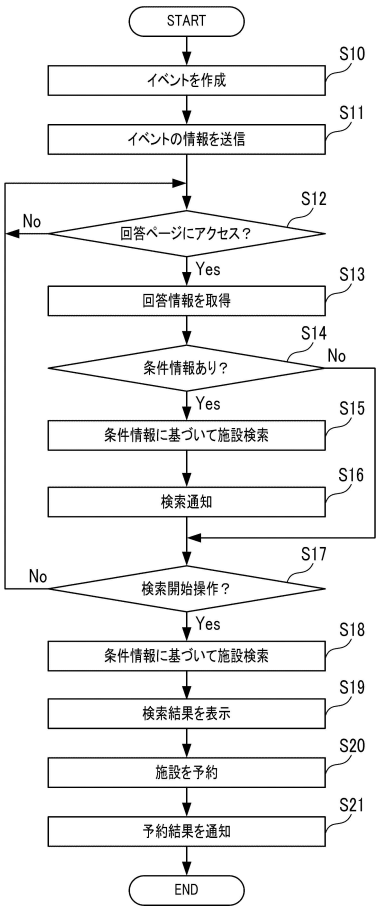
D4

ユーザ名	メールアドレス	グループ
USER1	aaa@･･･.com	0001
USER2	bbb@･･･.com	0001
USER3	ccc@･･･.com	0001
⋮	⋮	⋮

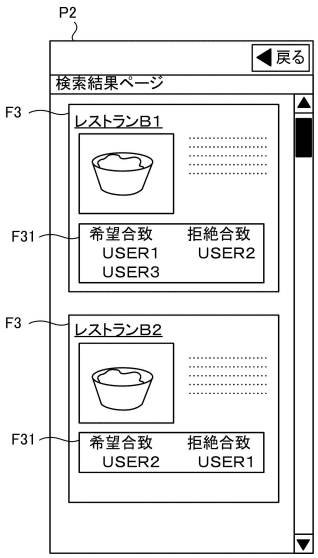
【図６】



【図７】



【図８】


P2
戻る
検索結果ページ
F3
レストランB1
F31
希望合致
USER1
USER3
拒絶合致
USER2
F3
レストランB2
F31
希望合致
USER2
拒絶合致
USER1

フロントページの続き

審査官　岸　健司

(56)参考文献　特開２０１１－１３８２８７（ＪＰ，Ａ）
特開２００３－０３６３３４（ＪＰ，Ａ）
特開２０１５－１９７７７８（ＪＰ，Ａ）
特開２０１６－１８６７７８（ＪＰ，Ａ）
特開２００３－０５８６６５（ＪＰ，Ａ）
特開２０００－３３１００４（ＪＰ，Ａ）
国際公開第２０１５／１５９４０９（WO，Ａ１）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ　１０／００－９９／００